



プリム通信



2025 | 夏のおわり | No. 1

8月の恵み-夏の思い出

先月8月を振り返ると、夏休み期間、教会に新しいお友達が来会してくれた大きな恵みが思い返されます。他県から帰省のタイミングで2週にわたって参加してくれた兄妹は、ちょうどNちゃんと同じ年齢で、また次の帰省のときに！と元気に帰って行ってくれました。（↓の写真は、一緒に作ったひまわりの風車です。）近隣のミッション系学校に通う中学生は、聖書科の夏休みの宿題をきっかけに、教会に足を踏み入れてくれました。新しく、E姉のかわいいイラストが入ったこどもれいはいポスターが外に掲示された直後、こうして初来会者がたくさん起こされ、神様の励ましを大いに覚えた夏でした。子供たちの夏の思い出に、教会の記憶が残りますように。また帰ってきてくれますよう、覚えて祈り続けましょう。



はじめまして

プリム通信、その名前の由来

ペルシャ王国が世界を支配していた時代、ハマンという人物が時の王に重んじられ、家来たちは皆、彼に対して膝をかがめてひれ伏すよう命じられました。しかし、この世界・万物を造られた唯一真の神だけを礼拝する民族・ユダヤ人であったモルデカイは、当然、人間であるハマンに頭を下げることはしませんでした。その彼の態度に腹を立てたハマンは、王に進言して、モルデカイ、そしてその同胞であるユダヤ民族全体をも虐殺する許可を得ます。そして、その実行の日をいつにするか、ハマンはくじを引きました。この「くじ」のことをペルシャ語で「プル」と言います。ところが、神さまは不思議な方法と導きによってユダヤ民族を救い、反対に、ハマンと彼の息子たち、またそれに与した者たちが滅ぼされるようにと、ハマンの企みを逆転してしまわれました。（詳しく知りたい方は、旧約聖書のエステル記をぜひ読んでみてくださいね。）まさに、それはユダヤ人にとって、「喪の日」が一変して「婚姻の日」となったような、驚くべき大きな喜びでした。このことを記念して、ユダヤ人の間で今も祝われているのが「プリムの祭り」（プリムはプルの複数形）です。私たちも、自らの罪の結果として、永遠の滅びの運命が定められていましたが、イエスさまの十字架の贖いによって罪赦され、永遠のいのちを持つことができました。人々が日頃耳にするこの世界のニュースは、震災、事故、事件、ほとんどそのすべてに死の匂いがつきまとっています。しかし、聖書には、教会には、それらすべてを逆転勝利させるイエスさまのいのちのニュースがあります。この良い知らせ（福音）を伝える働きとして、このトラクトが用いられることを願い、「プリム通信」と名付けました。

教会掲示板

みんながきょうかいにきてくれたら、いっしょにさんびして、いっしょにはなびとか、いろいろなことできるのにな～
(N5歳)

1 4周年感謝特別礼拝案内



10月の第1週目は、私たちの教会の周年記念礼拝が行われます。今年、10月5日ですので、みなさま予定を合わせてお集まりください。またこの節目に、これまでイエスさまからいただいた数え切れない恵みを思い返し、さらに力強く、将来への望みを抱いて進んでいく決意を新たにいたしましょう。礼拝後は、お弁当でのパーティタイム、また午後は恒例の工作タイムを計画しています。多くの方々と、喜びを分かち合うことができますように。お待ちしております！

ショートメッセージ

遠い国からの良い消息は疲れた人への

冷たい水のような。-箴言25章25節-

連日の猛暑で外出するのも命掛け。それでも重い心と体にムチ打って食料調達のために、いざ出陣-。その帰り道、私の横を一台のママチャリが通り過ぎた。その瞬間、後部座席に乗っていた5歳ぐらいの女の子が大きな声で「ママ、あのお姉さん、パイの実のお菓子持ってる！」と叫んだ。「え?!お姉さん？」炎天下の一本道。私の他に人影はない。確かに私の買い物袋には、そのお菓子が入っている。が...まさか、60代後半のおばあちゃんを見て、お姉さんはないだろう。ただ、サングラスにTシャツそして、ヒールの高いサンダルを履いていたので、パッと見そう見えたのかも...。完全な勘違いだが、それでもその一言で暑さにダレ気味の私の体はシャンとなり、心の中は喜び一杯。20歳は若返った。小さな女の子の一言でも、人をそれだけ元気にする力があるのだから、この世界万物を造られた全知全能なるイエス様のいのちのみことばは、私たちにどれほど、生きる力を与えてくださることだろう。

私はあなのみことばを見つけ出し、それを食べました。あなたのみことばは、私にとって 楽しみとなり、心の喜びとなりました。万軍の神、主よ。私にはあなたの名がつけられているからです。

-エレミヤ書15章16節-

